※令和４年度以降入学生用

学校番号	1001

令和５年度　芸術科　書道

教科	芸術	科目	実用書	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	令和５年度　硬筆書写技能検定３級合格ポイント（日本習字普及協会出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書体の特徴を捉え反復練習を行い、書写の実技向上を目指します。
・季節に応じた題材を創作し、書を通して幅広い自己表現を目指します。
・作品を鑑賞することで、感性を豊かにし鑑賞力を身に付けます。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせる。書の伝統と文化に関わる資質・能力を育成することを目指す。
(1)書の表現方法・形式・多様性などについて理解を深めると共に、書の伝統に基づき表現するための技能を身に付けるようにする。
(2)意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現できるようにする。
(3)主体的に創造的な諸活動に取り組み、書を通して心豊かに創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式について幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味を考え、書の美を味わい捉えてりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	基礎練習	・小筆、ペンで楷書と行書の基本点画を行い書写能力の向上を身に付けている。 ・筆記用具の違いにおける線質・字形・構成等の表現効果について工夫している。	a:　各書体の特徴と用筆・運筆の関りについて理解している。(知) b:　目的や用途、表現形式に応じた表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 c:　主体的に実用書の創造的な表現活動・鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品 テキスト	学習シート 作品	振り返りシート 観察
	作品制作①	・前期を通し学んだ分野を生かし季節に合わせた作品制作に主体的取り組もうとしている。 ・制作作品について互いに鑑賞し、個性的な表現について味わい捉えたりしている。	a:　各書体の特徴と用筆・運筆の関りについて理解している。(知) b:　表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:　主体的に実用書の創造的な表現活動・鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品 テキスト	学習シート 作品	振り返りシート 観察
後期	発展練習	・漢字の楷書・行書以外の書体の学習を通じて、表現形式に応じた全体の構成と要素を理解する。	a:　各書体の特徴と用筆・運筆の関りについて理解している。(知) b:　各書体の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:　主体的に創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	作品 テキスト	学習シート 作品	振り返りシート 観察
	作品制作②	・年間を通し学んだ分野を生かし季節に合わせた作品制作に主体的取り組もうとしている。 ・制作作品について互いに鑑賞し、個性的な表現について味わい捉えたりしている。	a:　各書体の特徴と用筆・運筆の関りについて理解している。(知) b:　表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:　主体的に実用書の創造的な表現活動・鑑賞の活動に取り組もうとしている。	作品 テキスト	学習シート 作品	振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度